

## 探索病理・腫瘍病理 特別シンポジウム

# 「がんクリニカルシーケンスの臨床実装にむけて」

日時：平成28年3月19日（土）13:00～16:00（12:30 開場）

場所：北海道大学医学部学友会館フラテ 大ホール

癌の個別化診断・治療にむけて、臨床現場で半網羅的な遺伝子解析を行い、診断・治療に必要なデータを抽出するクリニカルシーケンスの確立が急務の課題である。しかし、実際に臨床の最前線における遺伝子診断は、検査方法のプラットフォームが未だ確立しておらず、臨床応用を進める上での喫緊の課題となっている。

本セミナーでは、2015年4月に京都大学に導入された日本初のがんクリニカルシーケンスサービスである OncoPrime 検査に加えて、近日中に開始が予定されている北海道大学病院内でのがん遺伝子検査システム、及び、順天堂大学で開始が決定している MSK-IMPACT について、そのシステムの特徴と有用性を紹介する。さらに、遺伝子検査後の治療対応について OncoPrime 検査での実績を紹介しつつ、自由診療での対応や適切な治験への紹介など、クリニカルシーケンスの臨床実装後の治療戦略のあり方について、議論する。また、クリニカルシーケンスの実施には良質な組織検体の利用が必須であり、適切な病理検体の取り扱いについて、日本病理学会としての取り組みについて紹介する。

西原 広史

（北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座・特任教授）

田中 伸哉

（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野・教授）

### プログラム

12:55 開会挨拶 田中伸哉（北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野 教授）

#### ●がんクリニカルシーケンスの臨床実装（座長：北海道大学大学院医学研究科 腫瘍内科学分野 准教授 木下 一郎）

13:00-13:20 OncoPrime 検査によるがんクリニカルシーケンス

京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授 武藤 学

13:20-13:40 MSK-IMPACT の日本導入に向けて

東京大学大学院医学系研究科ゲノム医学寄付講座 特任助教 高阪 真路

13:40-14:00 クリニカルバイオバンクと連動した、がん遺伝子検査システム

北海道大学病院臨床研究開発センター生体試料管理室 特任教授 西原 広史

#### ●がん遺伝子検査後の治療対応について（座長：京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授 武藤 学）

14:00-14:20 OncoPrime 検査後の治療の実際

京都大学医学部附属病院がんセンターがん薬物治療科 特定准教授 金井 雅史

14:20-14:40 北海道大学病院での治療対応について

北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野 教授 秋田 弘俊

14:40-15:00 治験対応の現状と問題点

北海道大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 医員 川本 泰之

#### ●がん遺伝子検査に対する病理学会の取り組み（座長：北海道大学大学院医学研究科 腫瘍病理学分野 教授 田中 伸哉）

15:00-15:10 ゲノム病理診断委員会の活動と方向性

北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座 特任教授 西原 広史

15:10-15:30 病理部門からみたコンパニオン診断とマルチプレックスゲノム診断

北海道大学病院病理診断科・病理部 特任講師 畑中 豊

総合討論 15:30-15:50

15:55 閉会挨拶 西原広史（北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座 特任教授）

\*参加費は無料です（できるだけ事前にメール、電話もしくはFAXにて、下記事務局までお申し込みください）。

\*会場へは公共交通をご利用下さい。